

# 井上 智洋 (いのうえ ともひろ) 氏

駒澤大学経済学部 准教授

**略 歴：** 東京生まれ。

1997年慶應義塾大学環境情報学部卒業。

IT企業勤務を経てから早稲田大学大学院経済学研究科に入学し、  
2011年に同大学で博士号を取得。

2012年から3年間、早稲田大学政治経済学部助教を務めた後、  
2015年に駒澤大学経済学部講師に就任。

2017年4月からは同大学准教授。専門はマクロ経済学。

最近は人工知能が経済に与える影響について論じることが多い。

AI社会論研究会共同発起人。

**著 書：** 最新刊『AI時代の新・ベーシックインカム論』 (光文社新書)  
『人工超知能』 (秀和システム)  
『人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊』 (文藝春秋)  
『ヘリコプターマネー』 (日本経済新聞出版社)  
『新しいJavaの教科書』 (ソフトバンククリエイティブ)  
『人工知能は資本主義を終焉させるか  
経済的特異点と社会的特異点』 共著 (PHP新書)  
『人口減少社会の未来学』 共著 (文藝春秋)  
など

**テレビ：** NHK 「日曜討論」  
日本テレビ 「出川哲朗のアイ・アム・スタディー」、「スッキリ」  
フジテレビ 「リトルプレゼンター」、「報道プライムサンデー」  
テレビ朝日 「スーパーJチャンネル」  
BSジャパン 「田村淳のBUSINESS BASIC」特別編

**記事等：** 「次代を創る100人 2017」(日経ビジネス)  
記者会見「議論再燃！ベーシックインカム」(1) AI時代にはBIが不可欠(日本記者クラブ)  
インタビュー「全人口の1割しか働けない汎用AI社会 ベーシックインカムで社会の最低保障を」(Journalism)  
「駒澤大学 井上智洋准教授に聞く、ビジネスパーソンは「AI」をどう学び、活かすべきか?」(Beyond)  
対談「人工知能の進化が、私たちの価値観を根底から揺さぶる日。」(月刊 同朋)